

『一生懸命』幻の新座市議会報告第255弾！



たかむらともや

令和の米騒動

日本のコメがとんでもないことになっています。これ、半世紀近く続けてきた「減反政策」が一番の原因です。

「減反政策」を続けてきた為に、米農家も米の供給能力も激減していったのです。

金で外国産米を買えばいいというのはアメリカなどの「遺伝子組み換え」や「農薬塗れ」の米を食えというのに等しい。

日本の農業を守る気もなければ国民の命を守る気も無いのが自民党ということです。

日本の食糧を確保するには、欧米のように農業を保護しないといけません。

消費税で輸出大企業に「補助金」を出している場合ではないのです。トランプ大統領は日本の消費税が輸出企業への「補助金」だとちゃんと見ぬいています。

消費税増税とインボイスによって、多くの中小零細企業が倒産していきました。その一方で大企業の内部留保は増え続けています。

そもそも消費税の言い出しっぺは経団連。「中小零細から税金をせり取り、法人税は引き下げろ！補助金をよこせ！その代わり組織票と献金は任せろ！」**その結果が政治と金。**

消費税がはじまってから日本経済はガタガタ、社会保障もガタガタ、農業もガタガタ……

この議会でも「**消費税廃止の意見書**」を提出（10回目）しましたが、自民と維新、公明党、未来を創る会の反対で否決されました。

米も野菜も何もかもが高くて買えない今日の頃、この物価高に対する特効薬は何いても消費税廃止です。

経済を少しでも勉強した人は消費税がいかに悪税か分かります。消費税は安定財源とか国のプライマリーバランス黒字化を叫ぶ輩がいますが、誰かの黒字は誰かの赤字。誰が赤字って国民が安定して赤字＝貧乏になっていくってことですよ。それが消費税です。🤔

2025年3月20日発行



僕の初めての本「先生の手」が出版されました。本当は600円なのに消費税があるから660円。超ムカつくぜ！消費税！！🤔

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
東京青山生まれ。
新宿区百人町では
有名な超ワルガキ。

西戸山小時代には
ベンツの屋根を凹ませ、
嫌いおばさんの

家のポストに2Bを突っ込む。火災報知器を押して、消防車を出勤させるなど朝飯前で近所のおばさん達からは「たかむら君とだけは遊んではいけない！」そう言われていたらしい。そんな僕を救ってくれたのが

西戸山中学校で2年・3年と担任をしてくれた川合隆慶。詳しくは**3月上旬に発売された「先生の手」**を読んでください。Amazonでも本屋さんでも予約できます。

五中、六中、二中で21年間担任として子ども達と共に学び、現在は石神三丁目の自宅で小中高生と共に学んでいる。

上は髪の毛の長い綺麗な女性が笑顔で向かってきたので、思わずハグしたら塾の卒業生の明里だったという写真。(笑) 🤔

たかやんの連絡先 自宅・塾 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 隙間時間

僕の隙間時間。何をしているかというと・・・筋トレ、ランニング、手話とギターの練習、英語と韓国語、そしてテニスかな。

特に最近は手話とギターとランニングが楽しくてしょうがありません。なんで楽しいかというと、伸びているからです。手話は先輩達に「上手になったね。」と誉められ、毎日ギターを弾いて歌っていると、段々声も出るようになってきます。ランニングはタイムも距離も明らかに伸びています。(5キロ29分51秒)だから楽しいのだと思います。

楽しいと言えば、子ども達からの質問に答えるのも楽しいものです。それがカナダにいる高校生(塾の卒業生)からであっても難関中学の算数の図形問題を考えるのも楽しい・・・。人生と同じで、ちょっと難しい問題にぶつかった時にそれを何とか解決していく・・・それが楽しいのだと思います。

③ 政治・経済

なかなか解決できないのが政治と経済。
「保守」を名乗る政治家や優秀な筈の官僚が日本の農林水産業を大切にせず、EUや先進国では拒否されている農薬まみれ食品や遺伝子組み換え食品を平気で輸入させているのだから厄介なんですね。

薬品に関しても同様で、EUでは厳しく規制され、売れなくなっているワクチンなどをアフリカや日本に「在庫処理」で売りつけているのだからもう滅茶苦茶。

財政が大変だ！と言いながら、米国産の兵器は爆買い。国民の体に取り入れる食糧や薬品は「規制緩和」でこれも爆買い。

”国債は国の借金”だという大嘘を垂れ流し、生活が苦しい庶民からも消費税や社会保険料などを搾取しまくっているのです。

そして、更に酷いのは地震や森林火災の被災者に”自助・共助・公助”だと寄り添うことをしないのだから惨い。僕らに出来ることは消費税を廃止を主張する政党・政治家を選ぶのが第一歩。中高生も今から政治に参加する気でね。夏の参院選が勝負！ ③

③ 部活の地域移行

部活動の地域移行が日本全国で進められようとしています。部活動の”欧米化”と呼べると思います。中高大と五中、六中で部活動の真ただ中にいた僕にとって、やはり”異議あり！”と言いたくなります。

確かに教師の働き過ぎが問題になっていますが、それを生きがいにしている先生たちもいる筈です。そして、何より子ども達と同じ学校の仲間達と自分の学校で安全に部活に燃えることの楽しさは、**日本独特の教育文化**だとも思うのです。

大事なことは**国**が先生を増やすことと経済的補償をすることです。**「給特法」による教員の働かせ放題**には賛成できません。

多くの部活が消滅し、多くの子ども達が参加できなくなるのではと心配しています。「子ども達の意見を聞くようにしてください」とこの議会で何度も発言しました。**子ども達の為の地域展開であって欲しい**から。



1983年頃の五中硬式テニス部です。29歳でしたから、授業の前に朝練、授業が終わってから午後練、土曜日は勿論、日曜日も朝から晩までテニスをしていた時代です。

この子達の先輩が「男子テニス部」という名前の軟式テニス部を**「明日から硬式テニスをやります！」**と僕をテニスの世界に引きずり込んだのです。僕が子ども達の人生を変えたというより、**子ども達が僕の人生を変えた**のです。部活がいいのは、何と言っても同じ学校の仲間たちと学校の敷地内で信頼できる指導者と安全にお金をかけずに活動が出来るということですね。 ③

